

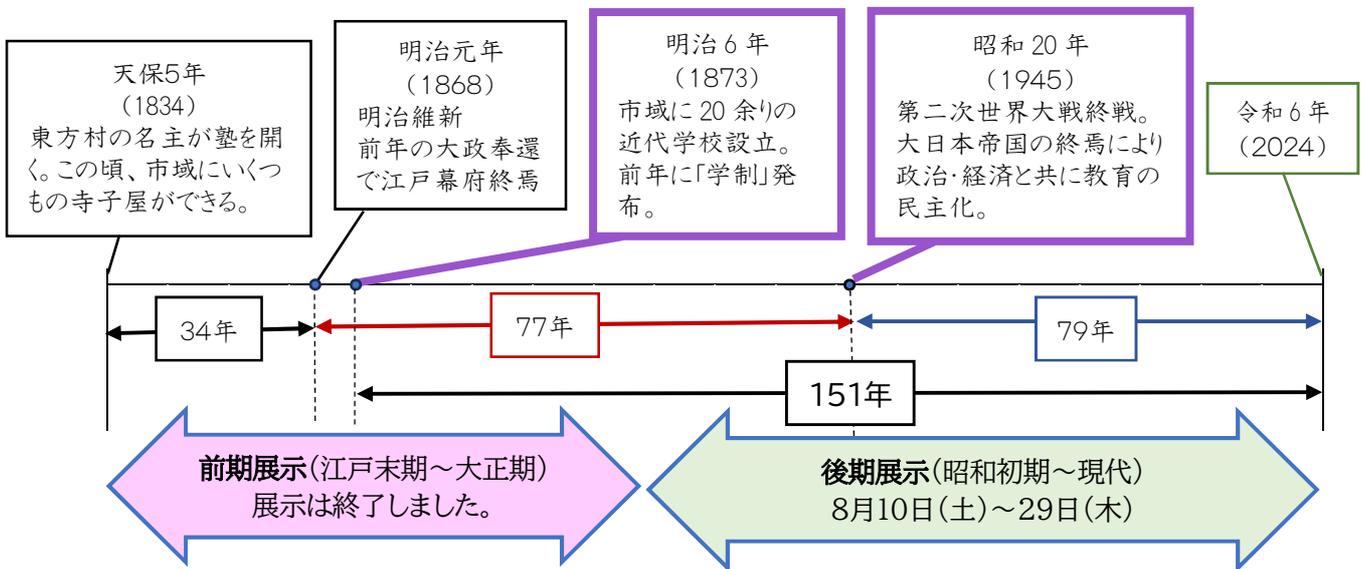


越谷地域に人が住み始めたのは・・・現在判明している限りでは1700年余り前、3世紀の後半です。(増林中妻遺跡)そこから時代が下って、近現代150年間余は変動の大きな時代です。昨年度に三部にわたって行った近代教育の展示を再編集したものを、今、市役所エントランス棟の多目的ホールで行っています。

今、なぜ今があるのかを問う

越谷から歴史を学ぶ

“150年”という時間は人によってその感じ方は様々ですが、今回の展示では次のように捉えてみました。



近代教育150年間に大きな変革が2度ありました。最初はその草創期(明治初期～中期)で、2度目は第二次世界大戦の終戦前後です。越谷の先人もこれらのことを乗り越えて来たこと、そしてこの先に“今”があることを、地域の史料を基に考える機会となればと思います。

前期展示をご覧頂いた方のご感想をいくつかご紹介します。

1. 「寺子屋の発達、世の中が動いている！」

- ★寺子屋発達の背景は世界情勢を始めの方に展示してあって、世の中が動いている!! 世の中を知りたい!! ってなるよね!! って納得できました。
- ★江戸時代から熱心な教育がなされていたことがわかりました。

2. 「この地域に豊かな史料があった」

- ★近代教育の始まりの史料がよくこれだけ揃えられたものだと感心しました。
- ★こんな良質の史料があるのかと驚きました。
- ★大変貴重な史料です。教育に寄せる先人の情熱と努力を感じました。



※前期展示のパネルは越谷市 HP でご覧になれます。

市 HP→子育て・学び→文化・スポーツ・生涯学習
→文化財・歴史→文化財→市の歴史や文化財を知る・学ぶ
→展示「越谷から見た近代教育 150年」前期

3. 「100年を超える歴史の学校たくさん！」

- ★昔からの地名のついた学校が今の小学校の元となることが分かり、感銘を受けました。
- ★越谷市内の小学校の歴史を知る機会がなかったので、とても参考になり楽しめました。
- ★明治初期に越谷に沢山の学校が出来ていたことに驚きました。
- ★100年を超える歴史のある小学校が多くて驚きました。

4. 越谷から世の中を観る

- ★学校の歴史から越谷を見られたことは興味深かったです。
- ★日本の教育の素晴らしさに感動しました。
- ★生まれ育った所（他県）より長く生活しています。骨を埋めるのは、もちろん越谷です。一番郷土愛があると自負しています。
- ★教育の歴史の一部に触れ、積み重ねられた歴史の上に今があること、痛感しました。

5. 小学生の感想

- ★わんからしん(穹窠羅針:測量器具の一つ)や「小学読本」など、はじめて見られてよかったです。
- ★れきしの勉強になった。
- ★もっと、れきしをのせてほしい。

小中学校、高校の校長先生や諸先生方、またかつて教員をやっておられた方、若い時に他地域から越谷に嫁がれたというご婦人、1970年代に外国から当地に移られた方、小学生、大学生、いろいろな方々からも会場でお話を伺いました。後期展示については、後日、「古民家だより」でご紹介したいと思います。

越谷に愛着が湧いた

先月、市内某所で地域史に関する小さな勉強会が催されました。参加された11名の方々は、皆さん市制施行以降に当地に移られたとのこと。短い方は10年経っていないとのことでした。

会では生涯学習課職員が「先人の足跡」というテーマで、この地域で特徴的な地名や宿場町や河岸場として発展したこと、治水事業などについてお話ししました。ここでも『今、なぜ今があるのかを問う』ということを考える好機になったことが、次のご感想からも伝わってきました。

- ★御殿町の地名の意味を知らなかったなので、興味深かった。
- ★家康が水を利用したことで越谷の発展がある。
- ★歴史のいろいろな背景を知り、その時代にタイムスリップでき、想像出来るのがいい。
- ★「越谷」と「越ヶ谷」の違い、何で“逆川”なのか、少し越谷のことがわかって、住んでる所に愛着が湧きました。
- ★洪水対策などの治水事業を江戸時代からして今になっているのは大変勉強になりました。
- ★越谷の歴史に触れることができ、また一段と越谷に愛着がわきました。
- ★越谷の近代史も勉強したい。 ★古文書を読んでみたい。
- ★これからの人づき合いにとっても役立つことを教わりました。
- ★地域の小学校に残っている戦前の校旗や青い目の人形のこと、先人の判断で保存されていて良かったと思います。

